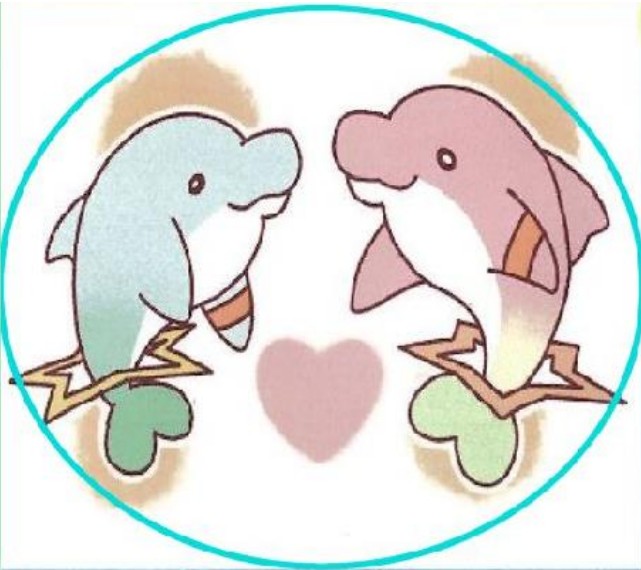


函館市生活支援体制整備事業 第1層生活支援コーディネーター 業務に係る活動報告



函館市第1層生活支援コーディネーター
齊藤 眞樹

第2層におけるコーディネーターとの協働

- ・生活支援コーディネーター連絡会の開催（毎月第4木曜日）
- ・「ちょこっと見守りプロジェクト」の実施
（包括よろこび×市立函館病院高等看護学院）
（包括ときとう×函館大妻高等学校）
- ・「ちょこっと見守りプロジェクト（包括たかおか×函館短期大学）」の検討
- ・セタプロジェクト（包括神山、南本通小学校運営協議会、民生児童委員、町会）への参加
- ・地域ケア会議（包括亀田、包括西堀、包括神山）への参加
- ・学校運営協議会との連携についての検討（包括ゆのかわ、包括あさひ、函館市教育委員会）
- ・「セタスタンプラリープロジェクト（包括西堀×商店×介護保険事業所等）」の実施
- ・「みんなde学生服リユースプロジェクト（包括西堀、神山×本通中学校×学校運営協議会×介護支援事業所）」の検討

地域におけるネットワーク構築

令和5年度

各機関との高齢者の生活支援に関する情報共有
高齢者が希望する社会参加活動に関するケアマネージャーとの情報共有
共生社会の実現に向けた障害者就労支援事業所等の実態把握
町会行事、各種イベントに関する検討
ボランティア活動推進の協力依頼
地域ケア会議での情報共有、課題把握

令和6年度上半期

ボランティア登録者の活動に関する情報共有
グループホーム等の運営推進会議への参加
小中学校との連携、協働活動の模索、情報共有
高齢者、地域協働の七夕行事への参加依頼、協働
生活支援コーディネーター活動の広報啓発活動
「みんなde学生服リユースプロジェクト」の参画、参加、協力、周知



住民主体の助け合い活動の重要性についての普及啓発

令和5年度

- ・機関紙およびリーフレットの配布
- ・各会議等での第1層生活支援コーディネーターの役割、活動についての説明
- ・第1層生活支援コーディネーターイメージキャラクター募集

令和6年度上半期

- ・機関紙およびリーフレットの配布
- ・各会議等での第1層生活支援コーディネーターの役割、活動についての説明
- ・第1層生活支援コーディネーターイメージキャラクター活用



住民主体の助け合い活動等の担い手となる ボランティアの発掘および養成

令和5年度

○担い手となるボランティアの発掘

- ・高齢者ポジティブボランティア(3名)

○くらしのサポーター養成講座(基礎研修)

- ・市立函館病院高等看護学院(1年生28名、2年生11名)
函館大妻高等学校(2年生13名、3年生8名)

○くらしのサポーター養成講座(実践研修)

- ・市立函館病院高等看護学院(1年生19名、2年生11名)
函館大妻高等学校(3年生8名)
- ・はこだてサザエさんの会およびクローバーの会(7名)

令和6年度上半期

○くらしのサポーター養成講座(基礎研修)

- ・市立函館病院高等看護学院(1年生39名)



地域における高齢者支援のニーズと 地域資源の把握および課題の抽出

令和5年度

- ・多世代交流センターコンテ日吉でのアンケート調査
- ・地域ケア会議での地域資源、課題の把握
- ・民生児童委員からの聞き取り調査
- ・高齢者のボランティア活動に関するマッチング

令和6年度上半期

- ・介護保険事業所における課題とニーズ把握
- ・町会における課題とニーズ把握
- ・学校における課題とニーズ把握
- ・ボランティア活動に参加する条件に関するアンケート調査



住民主体の助け合い活動等の仕組みの 創出および充実

令和5年度

- ・くらしのサポーターによる高齢者宅の資源ごみ収集活動のマッチングおよび実施
- ・高齢者ポジティブボランティアによる学生への体験講話のマッチングおよび実施
- ・ちょこっと見守りプロジェクト(包括ときとう×大妻高校×柳町町会)のマッチングおよび実施
- ・ちょこっと見守りプロジェクト(包括よろこび×市立函館病院高等看護学院)のマッチングおよび実施



住民主体の助け合い活動等の仕組みの 創出および充実

令和6年度上半期

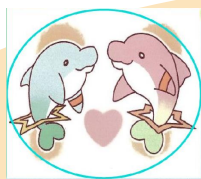
- ・新規取り組み
地域における「セタスタンプラリープロジェクト」の実施
- ・令和4年度からの取り組み
高齢者ポジティブボランティアによる学生への体験講話
ちょこっと見守りプロジェクト(市立函館病院高等看護学院)
ボランティア学生の引継ぎによる継続



第2層におけるコーディネーターとの協働

ちょこっとつながろう プロジェクト

学生さんに
サポーター講座



第1層生活支援
コーディネーター



実際に実施
OK

支え合いの
仕組みづくり

実際の見守り
チーム

学生さんのできる
見守り方法・回数



マッチング



第2層生活支援
コーディネーター

独居・老老世帯
で虚弱高齢者



広く学生さんに、地域活動があることや支え合いが
必要であることを知ってもらい、実践する人を増やす

住民主体の助け合い活動

人(個)を社会資源
としたマッチング

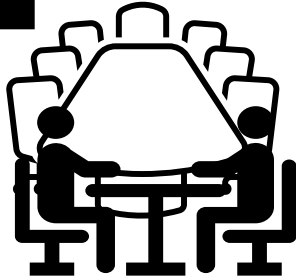


住民主体の助け合い活動等の担い手となる ボランティアの発掘および養成 (基礎研修)

ちょこっと見守りプロジェクト

基礎研修

プロジェクトの説明



チームづくり



基礎的関わり

学生の行事の確認
チーム編成

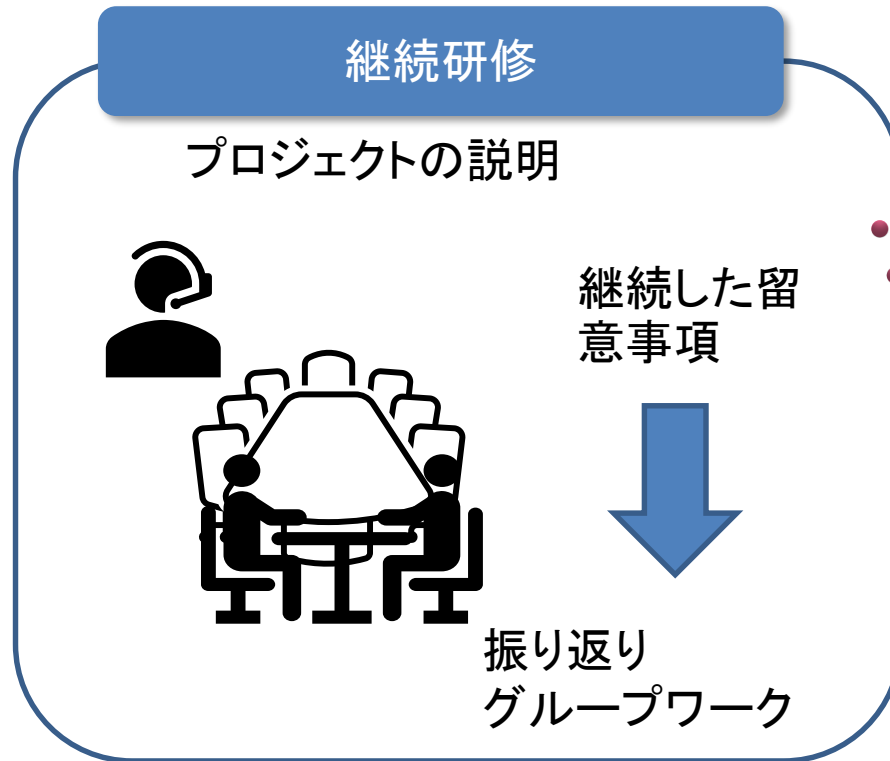
コミュニケーション
高齢者の特徴

訪問時、
想定される事の
対応と心構え



住民主体の助け合い活動等の担い手となる ボランティアの発掘および養成 (継続研修)

ちょこっと見守りプロジェクト



緊急時の早期発見
個人情報の取り扱い

気づきと
見守り振り返り



ちょこっと見守りプロジェクト

「ちょこっと見守りプロジェクト」は今年度から試験的に開始。協力を得られた高校、専門学校の学生が、地域の高齢者宅に出向き、声掛けをすることで互いの交流や高齢者の見守りにつなげようというプロジェクトです。ご協力をいただきました2校を紹介します。

部活動で地域貢献！！

チ
ーム

1層
SC

包括
ときとう

大妻
高校

高校生

町会



函館大妻高校では愛護部というボランティア活動を目的とする部活動があります。現在部員数29名で、3年生も就職活動や進学に向けて忙しい中、時間を作って活動中です。今回は愛護部の学生さんに協力をいただき、学校帰りに高齢者宅へちょこっと見守りを実施することになりました。徒歩で伺うため学校周辺の近隣

の町へ訪問することとし、地域包括支援センターときとうの協力を頂き、まず最初に学校の所在地である柳町町会からの開始となりました。ボランティア活動前に学生さんは接遇などについて講義を受けていただきました。地域の高齢者は、高校生が訪ねてきてくれることを楽しみに待っており笑顔になります。このプロジェクトは小さな活動ではありますが、人と人がつながり交流することで「高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられること」へつながる事を願っています。



命を守る専門職を目指しながら活動中！！

チーム

1層
SC

包括
よろこび

市立
看護

専門
学生

町会

市立函館病院高等看護学院の2年生全員に高齢者の支えあい活動について講義をしたところ、20名が、自主的に希望して高齢者のちょっとした見守り活動をはじめました。2～3名ずつチームを組み、週1～2回、地域包括支援センターよろこびの協力のもと独居の高齢者宅へ訪問します。ご挨拶程度ですが、毎回同じ学生が顔を見せ、ご挨拶することで、高齢者は若い人との関わりの機会となり、学生は地域の



高齢者を知る機会となります。実習期間中はお休みですが、継続することで、少しでもつながりを感じて頂ければという思いから始まっています。ちょっとした時間でも、学生からは、「高齢者の方から、朝来てくれると嬉しいと言われ（学生も）元気をもらう、私も嬉しい」という言葉が聞かれています。高齢者を見守る学生が、高齢者から見守られ元気をもらっています。

定年退職後、様々な経験や知識をお持ちのシニア世代の方が多数地域にいらっしゃいます。その貴重なスキルを活かして頂く社会参加は大変重要で、社会参加に前向きな気持ちで取り組むプロジェクトを開始いたしました。

20年ぶりに学生の前へ

チーム

1層
SC

市立
看護

シニア
世代

介護
事業所

居宅
支援
事業所



看護学校での講義の様子。インタビュー形式で実施されました

ご協力いただいた林さんは、元北海道大学名誉教授の経歴を持つ、講義を行うプロフェッショナルです。現在、通所リハビリテーションに通い、機能訓練を続けながら生活をされています。看護学生は、病気の発症から退院後の日常生活の様子についての説明を聞き取り、その後グループの代表者が質疑を行いました。病気やリハビリに対する思い、今後の目標を直接聞くことで理解を深めることができました。20年ぶりの講話だったそうですが、全くブランクを感じさせず、専門用語を用いての講話は、学生が驚く場面もありました。また、学生からお礼の色紙を頂き大変喜ばれていました。



感謝の気持ちを色紙へ

くらしのサポート養成講座

地域で活動する仲間作り・ボランティア実践

チ
ーム

1層
SC

くら
サポ

居宅
連協

1・高齢者の生活支援内容を検討、利用者とのマッチング（9月～11月）

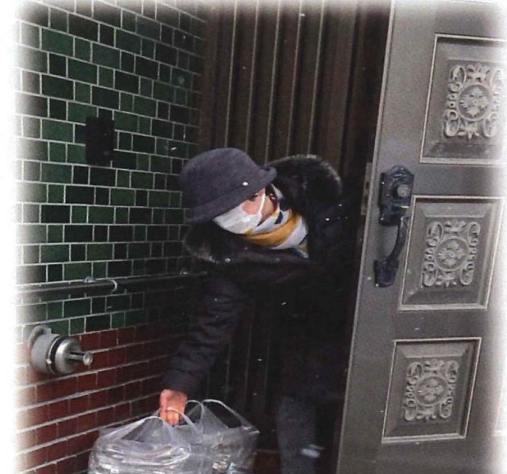


第1回開催(9/15)研修の様子

かかる時間 (1人1台あたり)	利用可能な人 (利用可能な人)	利用可能な人 (利用可能な人)	利用可能な人 (利用可能な人)	利用可能な人 (利用可能な人)	利用可能な人 (利用可能な人)
30～60分 本人が来場	30～60分 本人が来場	30～60分 本人が来場	30～60分 本人が来場	30～60分 本人が来場	30～60分 本人が来場
自分への負担	ない	ない	ない	ない	ない
活動人数	1対1	1対1	1対1	1対1	1対1
活動回数	週1回 月2回	月1回	月1-2回 町内会	月1-2回	月1-2回
活動範囲	町内会	町内会	町内会	町内会	町内会
活動までの移動	おける範囲	歩ける	歩ける範囲	公共交通	公共交通
ここまでする ことができる	一般に おける範囲 (実例)	一般に おける範囲	分別する おける範囲	公共交通	公共交通

女性チームのグループワーク内容

2・試験的にボランティア実践（12月～2月）

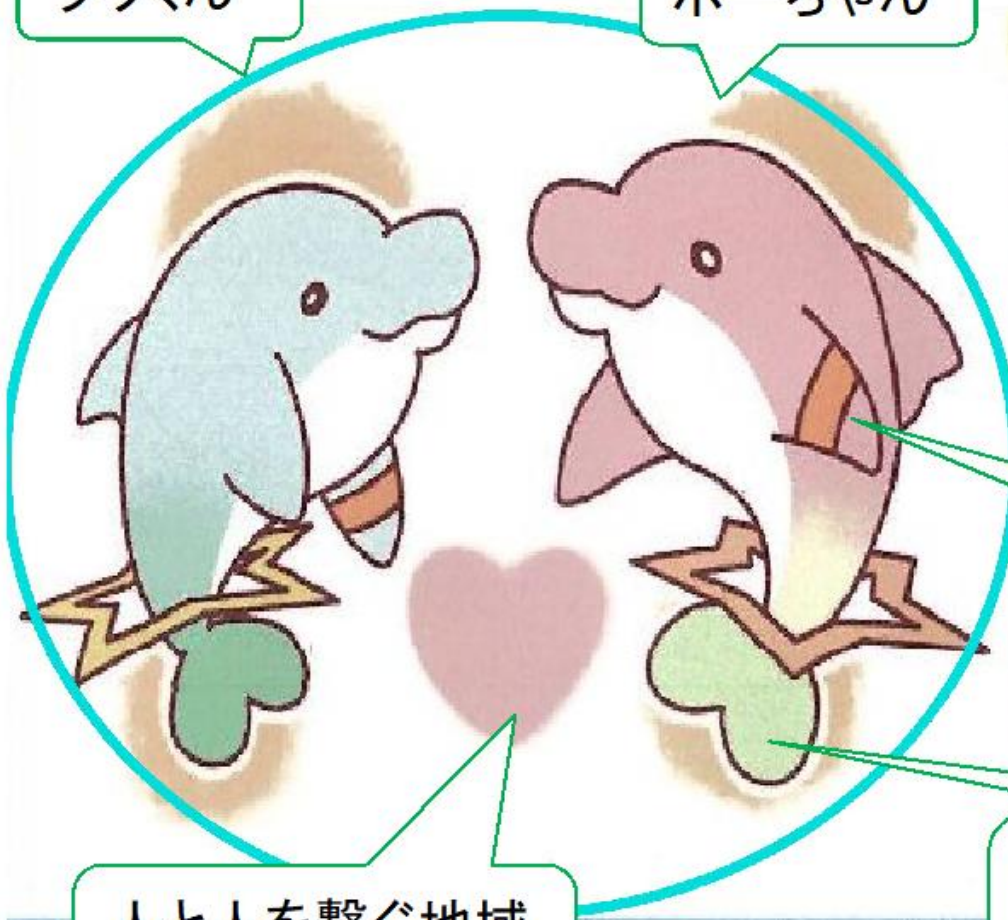


芽生える
Sprout(スプラウト)

支える
Support
(サポート)

ラウくん

ポーちゃん



人と人を繋ぐ地域
をつなぐ支援

オレンジの認知症サポーターの
イメージ

地域包括ケアシステムの双葉を
イメージ(ハート心と心で地域を
つくる)

キャラクター名

ラウくん

ポーちゃん

命名の理由・由来・補足説明

芽生えるsprout(スプラウト)、支える(support)から命名しました。2匹のモチーフとして、前ヒレには、認知症サポーターをイメージしたオレンジの腕章、尾ひれには、五稜郭や市章の星を、尾ひれは地域包括ケアシステムの植木鉢の双葉をイメージしハートにしています。温かみの出るやわらかいパステルのような色を使用しました。

七夕まつりスタンプラリーを実施しました

新しい地域のつながり、多世代交流を目的に、地域の方々と協同して「七夕まつりスタンプラリー」を実施しました。初めての取り組みでしたが、たくさん子どもたちが参加してくれました。

七夕まつりスタンプラリー

チ
ーム

ボラン
ティア

第1層
SC

第2層SC
包括西堀

町会

介護保険
事業所

商店

病院



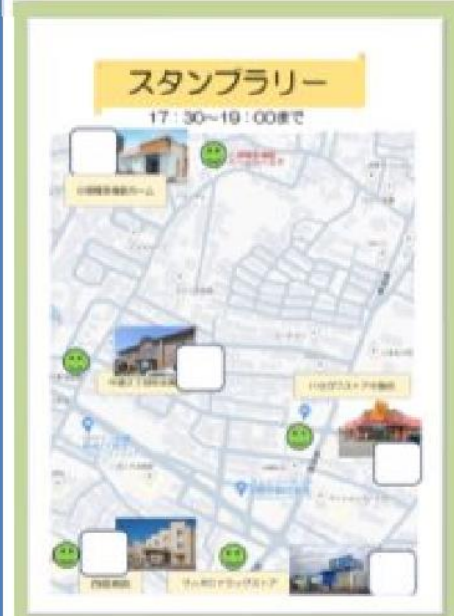
ハセガワストア中道店



中道第二町会



サツドラ函館中道店



函館の伝統行事を盛り上げたい！地域でもっとつながりたい！
 そんな声から生まれたスタンプラリーは、あっという間に150部のカードがなくなるほど大盛況でした。わたしたちの住む地域の町会館、食べ物や日用品が買えるお店、病院の場所を探索しながら、小規模多機能ホームでは、利用者が準備したイベントと一緒に楽しみました。

地域のつながりを強化することで、防犯面や防災面での協力体制の構築、人と人がつながることで助け合いや相談し合える環境の土台づくりとなりますように、と、短冊に願いを込めました！
 ご協力いただいた地域の皆様に感謝いたします。



小規模多機能ホーム のべる手



西堀病院・地域ボランティアの方

本通中学校の 制服をリユース します

譲渡の対象となる方

- ・ 本通中学校への入学を控えている方
- ・ 本通中学校在学中で、制服のサイズが合わなくなった方

※譲渡の際には、本通中学校区内にお住まいであることがわかる証明書が必要です。

例) 入学予定又は在籍中の子の保険証、入学指定書、在籍中の子の生徒手帳 等



中学校を卒業



不要になった
制服を寄付

制服のリユースは、函館市第1層生活支援コーディネーターの活動のひとつです。本通中学校区内の地域包括支援センター（神山・西堀）や、高齢者施設等、地域の方々にもご協力いただいてこのような取り組みを行っております。

「制服を寄付したい」「制服が欲しい」

という方がいらっしゃいましたら、回収方法や譲渡会の日時について、下記までお気軽にお問合せください。（ジャージの寄付も受付中！）

必要な方々に
譲渡



デイサービスで制服を
きれいにする



にしぼいマルシェ開催!

こどもから大人まで気軽に遊びに来ませんか

場所：鍛冶町会館 10月26日(土)

13:00～15:00

お願い：当日は、徒歩または公共交通機関でご来場ください。

消防車が入るため、駐車場は使用できません。



本通中学校の
リユース制服の
譲渡コーナーも
開催します。保険
証など、学区が確
認できるものを
ご提示ください。
(数に限りあり)



開催ブース一覧

古着 de ワクチンプロジェクト

入場無料

2024年10月27日(日)

9:30~12:20

(9:00開場・受付開始)

会場 本通中学校 体育館
および 駐車場

※東玄関からご入場ください
上靴をお持ちください

出店ブース・キッチンカーでの
販売もあります。代金は
各ブースにて現金で
お支払いください。



1部

9:30~10:50

メインイベント 古着 de ワクチンプロジェクト

“古着 de ワクチン” “セカンドライフ”

協力/なんでもリサイクルビッグバン

古着&おもちゃ交換会を開催し

残ったものは“古着 de ワクチン” “セカンドライフ” へ送ります

お願い 当日ご来場の際に、ご家庭で不要になった

おとな 古着 こども おもちゃ・文房具(古着もOK) を
ご持参ください ※お1人1点以上 ただし一人で持ち運べる程度まで

◎一度回収した物は返却できません。あらかじめご了承ください。

◎ポケットの中に物が入っていないか、再度ご確認ください。

◎衣類、くつ、かばんは、それぞれそのまま再利用されますので、汚れ・
破損のあるものは回収できません。

※古着等お持ちでない方も入場可能です



環境省HPへ



くわしくはこちらを
チェック

古着 de ワクチンプロジェクト
とは？

不要になった衣類等を手放すことで誰かの
役に立ち、世界の子ども達にワクチンを届ける
ことができる取り組みです。また、衣類の
再利用のほか、国内外での雇用創出など、
様々な社会貢献につながる
有意義な活動です。

古着 de ワクチン



1. 本通中学校
 着たはくした学生服を回収する

2. デイサービスセンター
 制服を回収する

3. おいしきデイサービスセンター
 制服を回収する

4. 制服が不要なご家庭へ
 学生服を回収していただくために
 入会費をいただいております

HAKODATE みんな de
学生服リユース プロジェクト

- 1 限りある資源を保全し、CO2排出を削減します
- 2 モノを修理して、長く大切に使う心を育てます
- 3 あらゆる世代、みなさんで協力する必要があります
- 4 どんなにでも活躍できる社会を目指します

本通中学校生活支援センターのイメージマップ

ラウくん ポーちゃん

ラウくんは「芽生えるsprout（スプラウト）」から。
 ポーちゃんは「育ちますgrowup（グロウアップ）」から。
 2匹のキャラクターとして、認知症サポーターの活動をイメージし、オレンジの服、
 緑の服を着てはめています。本通中学校の学生服をイメージにしています。

トイレ
 ←

**本通中学校の
 制服を
 回収しています**

函館市第1層
 生活支援コーディネーター
 地域包括支援センター 神山

本通中学校制服リユース(回収)
 お菓子と交換(先着30名)

みんな de
学生服リユース
 プロジェクト

制服を持ってきていただいた方には
お菓子をプレゼント!(先着30名)

※お菓子は、企画に賛同していただいた(株)明治様より
 ご提供いただきました。

第2層活動

第2層SC
活動紹介

北美原まちのつながりプロジェクト

実施主体が地域包括支援センターとなり、地域づくりや資源開発により、地域でその人らしい尊厳のある生活の継続を阻害する地域課題を解決するための社会基盤づくりを目的に地域ケア会議を行っています。今回は地域ケア会議を重ね、町会や大学、小学校、中学校と協力し、はこだて未来大学による体験学習が行われましたのでご紹介を致します。

はこだて未来大学に
よる体験学習開催

チ
ーム

包括
亀田

大学生
ボラン
ティア

中学生
ボラン
ティア

北美原
小学校

学童
保育所

保護者

町会

民生
委員

居宅
支援
事業所



IT技術の体験学習の様子

きたみはら寺子屋を開催しました

学び、多世代交流、生徒・学生との協働、高齢者の活躍を柱にイベントを開催しました。

第7回北美原プロジェクト会議

チ
ーム

第2層SC
包括亀田

町会

民生
委員

コミュニ
ティーS

学生

学童
保育

介護保険
事業所

『学び』『多世代交流』『生徒・学生との協働』『高齢者の活躍』を柱として、具体的な活動内容の協議を重ねた結果、まちのつながりや支え合いの仕組みの一つとして住民同士が集う機会となり、住民一人ひとりがまちへの関心を高めることを目的に開催しました。フライヤーやポスターは未来大学学生が中心となって作成し、寺子屋当日は町会役員や老人クラブの方が運営するなど、多世代の関係者が参画して、子どもたちを取り巻く地域住民の横のつながりを広げる1日になりました。



2024

きたみはら 寺子屋

8/3(土) 9:30~12:00頃

@北美原町会館

参加
無料

第1部「学習」

9:30~

夏休みの宿題や自由研究を一緒に！

- ・苦手な勉強を克服したい
- ・得意な勉強をさらに伸ばしたい
- ・自由研究のテーマが決まらない

などなどどんな子も参加OKです！
未来大学のお兄さんやでっさん、xちゃんの先輩たちがやさしくサポートします！

教科書/ミドル/自由研究の材料/読みたい本のほか、**会館内400冊**のため、**Chromabook**を持ってきてもらおう！

第2部「体験」

10:30~

塩と水とジュースでシャーベットを作ろう！
夏の日、一緒にシャーベットを作って食べませんか？かき氷屋さんで用意しています。勉強を頑張った後のご褒美ですね！

夏の遊びを振り返ろう！
シャーベットを美味しく食べた後には、昔の遊び体験のコーナーで、**囲碁や将棋、輪投げ**を楽しめることができます！

最後までみんなで遊ぶゲームも！
お土産にも用意していますよ！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- ・1-3年生は、保護者の方と一緒に参加してください。
- ・4-5年生は、児童のみでの参加が可能です！(もちろん親子参加もOK！)
- ・北美原町以外の方も参加できます。
- ・参加は申込制となります(先着順)。

つ・な・が・る マルシェを開催しました

多世代交流を目的にイベントを開催しました。

つながるマルシェ実行委員会

チ
ーム

第2層SC
包括
よろこび

町会

商店

民間
業者

警察
消防

学生

地域
住民

7月21日（日）交流スペースよろこび（向仁会ユニット型介護療養型老人保健施設喜郷）駐車場にて、桔梗町会、桔梗中学校区学校運営協議会、その他各関係機関にて、地域活性化を目的に開催されました。頭健康チェックやよさこい、紙芝居・ダンス、モルック（風）競技等が催され、多世代の方々とのつながる場となりました。準備等で桔梗中学校の生徒がボランティアとして参加し、晴天の広場に笑顔、歓声がひとときわあふれた一日でした。



つ・な・が・るマルシェ

令和6年度

7月21日（日曜日）
午前10時～午後2時
交流スペースよろこび

プログラム

大人も子どももみんな集まれ～！
三世代交流を楽しみましょう！
～みんながつながる安全で温かいまちを目指して～

主催：つ・な・が・るマルシェ実行委員会
（函館市桔梗町会・桔梗中学校区学校運営協議会
函館市地域包括支援センター・よろこび）

協賛：ファーマーズマーケット
亀ちゃん



住みやすいまちづくりを目指して

実施主体が地域包括支援センターとなり、地域づくりや資源開発により、地域でその人らしい尊厳のある生活の継続を阻害する地域課題を解決するための社会基盤づくりを目的に地域ケア会議を行っています。今後地域ケア会議など第2層SCの活動を紹介いたします。

「ゆりあいプロジェクト」活動スタート！！

チ
ーム

包括
神山

白百合
高校

高校生

町会



函館白百合学園高校から「町会活動と協働したボランティア活動により学びが深まるのでは」とのお話から、看護医療系コース1・2年生53名の生徒と山の手町会のワークが始まりました。

テーマは「地域の困りごとに向けた取り組みの一環として～地域の方々へ、元気を届けるボランティア活動～」です。1回目の7/1は、高齢者の生活、町会の活動の講演から、生徒中心に何ができるか考えました。

2回目では、山の手町会と山の手2丁目中央町会の役員が参加し2年生とともに出来そうな内容を絞り込み発表しました。「これならみんなで楽しめる」など、生徒はいきいきと意見を出し、役員の方々は笑顔で答えていました。今後、実際に活動へとつなげていきます。生徒と共に地域が元気になりそうです。



子供が戻ってきたい
あたたかい「まち」

チ
ーム

包括
こん中央

中部
小学校
CS

町会

地域
住民

高校生
ボラン
ティア

こども
食堂

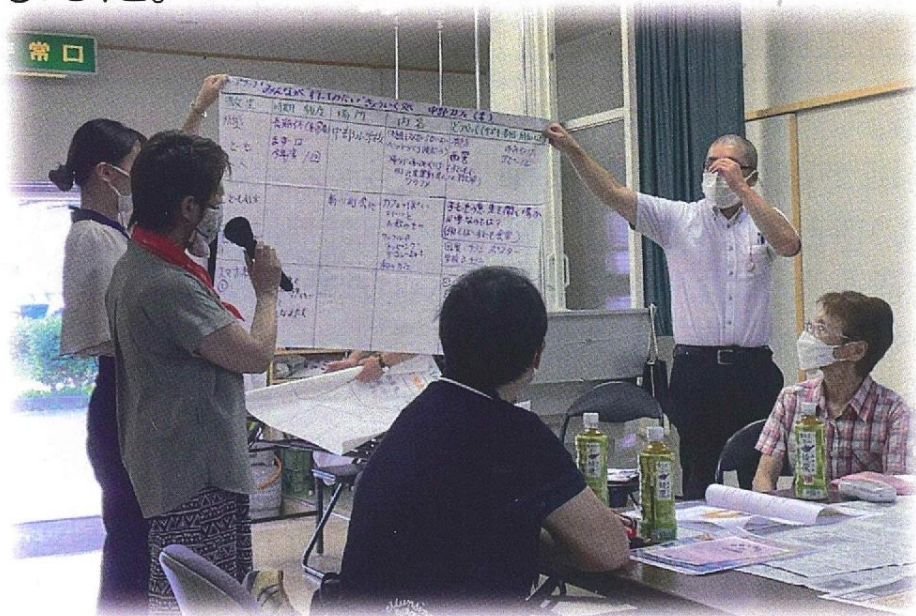
薬局

社会
福祉
法人

一般
企業

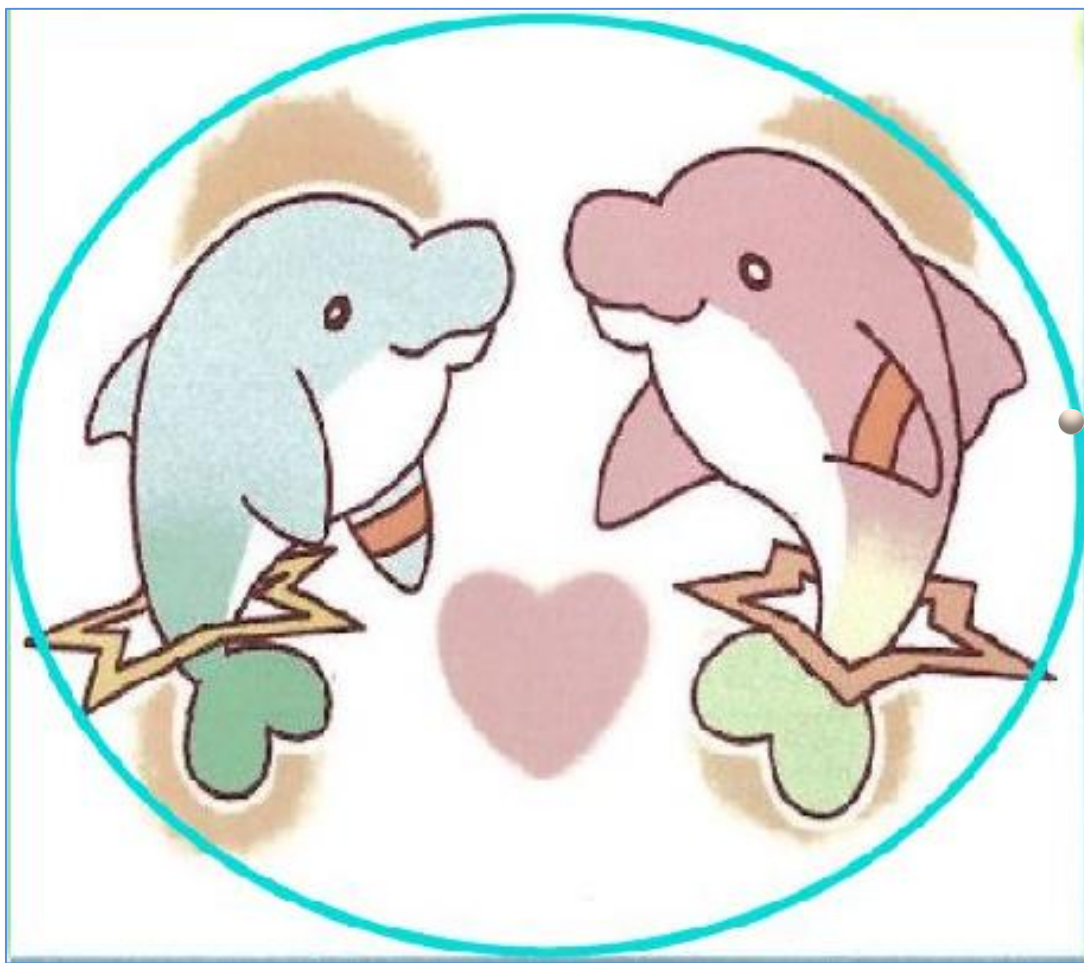
警察

6/24と7/29に中央部第一圏域で地域ケア会議が開催されました。中部エリアみんなでつくる「きょういく処」をテーマに、町会関係者や地域住民、就労支援事業所、薬局、中部小学校の学校運営協議会、警察、一般企業、高校生も参加して話し合いが行われました。



高校を卒業すると函館から出てしまう子供たちが多く「子供たちが戻りたくなるまち」「顔見知りたくさんのまち」になるにはどうしたらよいか、さまざまな立場の方々が垣根を越えて、グループワークではたくさんの意見交換がされていました。今後も検討が続いていきます。

ラウちゃんとポーちゃんの活用について (効果的な周知方法)



今後の活用方法
・機関紙やちらし
・ビブス(1着約1,200円)
ボランティア活動時に着用



**皆さんの力で笑顔
あふれる地域にしたい**

**ご清聴ありがとう
ございました**